

請 願 第 1 号

白川中学校の存続に関する請願書

紹介議員 佐 藤 龍 彦

白川中学校の存続に関する請願書

請願の趣旨

本年5月、白石市教育委員会は、白川中学校を平成31年4月1日に東中学校に統合するというので、本年度内に統合に係る「学校統合準備委員会」を設置し進めていくとの方針を示している。しかし、各々の説明会以降、白川地域住民、白川出身の住民の方々から、統合に反対する声が多く寄せられるようになった。そこで、白川中学校の存続を求める請願をする。

請願の理由

1. 白石市教育委員会は、保護者、PTA、自治会、地域における説明会を実施しているが、一方的とは言わないまでも、統合ありきの説明であって、各々の説明会における話し合いも極端に少なく、十分ではなかったと考える。
2. 毎年新入生は少ないものの、0人ではないので、小規模校、複式学級の利点をいかすべきではないのか、少人数だからこそできる教育もあると考える。地域住民にとって伝統ある母校を、こんなに簡単に失いたくない。
3. 学校は地域の文化・防災拠点となっており、学区拡大すれば学校と地域の関係が弱まると考える。また、地域から学校が無くなることで地域住民の交流の場が失われ、若者の市街地への流出を促し、人口減少と過疎化に拍車をかけるのではないかと懸念される。それから、定住促進に奮闘している地域住民に冷や水を浴びせ『地方創生』にすら逆行するのではないかと考える。

以上のことから、白川中学校の統合に関しては時期尚早と考え、白石市教育委員会が進めようとしている統合に反対し、白川中学校の存続を求める請願をする。

平成28年6月3日

請願者 住所 白石市
氏名 白川の子供と教育を考える会
代表 平間 和昭
ほか 1343名

白石市議会議長 佐久間 儀郎 殿